



ふじい せいしち 議員
藤井 精七

農業施設の支援

状況により制度活用

子育てしやすい町に

国基準より軽減した金額を設定

全国学力、

学習状況調査結果の状況、課題

農業施設への支援を

必要に応じ補助金等の利活用

藤井 大変な状況にあります。町も土地改良区となお一層の連携を図りながら、やる気をなくさないためにも、矢吹土地改良区、矢吹原土地改良区の理事長もしております。

いろいろな事業等の計画も組み込まれていると思いますが、力強い支援願う。

町長 町内の揚水機等の施設については、大小合わせ70カ所を越えています。これらについては、管理者である改良区や受益者の水利組合等が維持管理や改修、更には、整備について行うことが原



羽島用水

則となつていきます。但し、大規模な災害時には、町が関係機関と連携し、国・県等の助成を受けながら災害復旧事業を実施しております。

状況や必要性に応じ、国や県の補助金等の利活用を判断してまいります。

藤井 保護者の経済的負担の軽減を図ることが求められます。保育所、幼稚園の無料化、県にも働きかけ、学校給食費の無料化、大震災、原発事故、被災した福島県は他県に比べても複雑かつ深刻な影響があります。少子化の対策にも国がためなら町で取り組む。町長の思いを伺う。

町長 第5次まちづくり総合計画では、子供を安心して産み育てることが出来る町をつくることを重点にしております。平成19年度から、第3子以降の幼稚園、保育園の無料化を実施してきました。保育料については、今年度より、子供・子育て支援法において、新制度における利用者負担は、世帯の所得状況により勘案することになりました。

本町では、保育料の改定を、国基準より軽減した金額を設定してあります。



授業の様子

藤井 矢吹の小中学校は、喜びが大きかったのか、嘆きが多かったのか。私は、競争力、平均点を取るための手段ではなく、人として生きる力、そういうことを、教育長を中心に進めていってもいいと思うが、考えを伺う。

次世代を担う子供達の育成に取り組む

教育長 矢吹町では、小学は国語、算数ともに全国平均でありましたが、理科は全国平均を下回りました。中学校は、国語、数学、理科のいずれも全国平均を下回っている結果でありました。

次世代の矢吹町を担う子供達が、変化の激しい社会をたくましく生き抜くために、確かな学力、豊かな心、健やかな身体 の育成を、大きな目標として取り組んで行く考えであります。

町政を問う（一般質問）